

高槻名誉市民を

語り継ぐ会会報

13号

平成 27 年 5 月 1 日

今期が始まりましたが、我々の目的は「本会は高槻市民憲章『わたしたちは、人間豊かな教養を高め、輝く市民の文化を作ります』に則り、誇りを持ち、品格のある市民風土の構築」であることを再認識する必要があります。そして、今期も基本線に外れることなく具体的活動案件に対し積極的に活動してまいります。

例えば、1年間にわたり「名誉市民を考える会」を催します。さらに講演会等に積極的に参加します。内容の充実はもちろんのことですが、いかに高槻市民に浸透していくかに取り組みます。幸いにも小学生課外学習教材への掲載・名誉市民生い立ちビデオなどが整いつつあります。これらを活用することにより、高槻の文化の向上のため、地道な活動を行いたく、今期もよろしくお願いいたします。(馬淵)

■名誉市民を考える会始まる＝磯村弥右衛門編

宇津木先生による「高槻の“誇り”を語る」が始まりました。これは、高槻名誉市民やマスコミの神様を取り上げ、先人の功績を振り返るものであります。

第1回(4月13日)『磯村弥右衛門の生い立ち』

磯村家の西暦 1500 年ぐらいからの祖先の変遷、大冠村の様子、植場平との関わり等に関する講話があり、その後グループごとで、語り話し合いを行いました。



第2回(4月27日)『大塚切れとその復興』

1917 年に発生した大塚堤防切れが如何に莫大な被害をもたらしたのか、磯村翁の援助により周辺の村との交渉も乗り越えたなど、翁の政治力を中心に聞くことができました。

* 次回は5月11日(月)で『翁の金融業・高槻町成立』の講話、次いで5/25:大阪府会議長として、6/8:戦争下で高槻の確立、6/22:政治家として貫いたもの、をお送りします。

■総会開催される＝4月27日

この会は平成 25 年に結成され、平成 26 年度も無事終了し、今回初めて総会を開催しました。出席者は運営会議メンバー3名と、幹事2名で、議題は、前期の活動・決算報告、会則の承認、幹部の承認、平成 27 年度活動計画報告でありました。具体的には、名誉市民を考える会・シンポジウム・自慢トークリレー・ストリートトークリレーなどの開催、会報作成などです。

■教科書に掲載される

この度小学校3、4年生の「社会」の副読本で「私たちの町 高槻・大阪」が発行されました。その中 102 ページの高槻市メモで、初めて名誉市民が掲載されてます。我々はこの記事を活用することにより先人の功績を伝え、誇りのある市民風土の確立を目指してます。



■会報とブログで情報発信

ブログの移転作業中。5/7 下記に移動予定ご覧ください。

<http://blog.livedoor.jp/takatsukimeiyoy5/>

■名言集 (村上三島談)

静かに人の心を慰める＝書道観

そこに静かにある、そして何とも言えぬ暖かさと、やわらぎを常に放って、見る人の心を慰める、といったものでありたい。それが美術だということになりそうです。

発行:高槻名誉市民を語り継ぐ会